

地域レベルでの漁況海況情報の提供事業（概要）

漁業資源部 梶 達也

1 目的

高知県海域における漁況、海況を調査するとともに、周辺海域の関係機関から情報を収集し、漁海況速報として漁業関係者等に広報する。あわせて本県の主要な漁獲対象魚種であるイワシ類、マアジ、サバ類等の漁況及び海況の長期予報を作成し、広報する。以上のことから水産資源の合理的利用と漁業の効率化を図り、より安定した漁業経営に貢献することを目的とする。

2 方法と結果

（1）調査事業

1）海洋観測調査（沿岸定線調査）

沿岸定線調査を平成17年4月から平成18年3月まで毎月1回行った。

2）沿岸定地水温調査

土佐湾沿岸の7地点（柏島、足摺、土佐清水市、田野浦、浦ノ内、室戸、甲浦）において水温の観測を行った。さらに、土佐湾に設置された黒牧10号（室戸沖）、12号（高知沖）、13号（足摺沖）において自動観測された水温データを収集、整理した。

（2）速報作成・通報業務

1）漁況聞き取り及び漁獲統計調査

漁業協同組合とその支所（すくも湾、清水、窪津、下ノ加江、大方町、佐賀町、興津、錦浦、宇佐、春野町、手結、安芸、加領郷、室戸、椎名、甲浦）に協力を依頼し、漁獲量を毎週聞き取った。さらに、月別統計資料を収集し、主要魚種別漁協別、主要漁業種類別の漁獲量を整理した。

2）漁海況速報の発行

毎週1回、人工衛星情報等から判断した黒潮の流路、沿岸表面水温の分布状況、漁業協同組合から聞き取った週間の漁獲量、近県（三重県、和歌山県、宮崎県）の漁況情報を収集、整理し、漁海況速報として51回発行した。

3）海洋観測表及び海況図の作成・通報

海洋観測調査により得られた結果を海洋観測表としてとりまとめるとともに、水温、塩分、透明度、流向・流速の水平分布図を作成した。

4）黒牧ブイ海況情報テレホンサービスの提供

電話応答装置により黒牧10号、12号、13号での風向、風速、表面の水温、流向、流速の情報を提供した。

本年度の当サービスの利用回数は192,997回。

5）インターネットを利用した高度漁海況システムの提供

黒潮牧場ブイ情報、海水温情報、漁海況情報（漁海況速報、漁況の概況、長期予報）、市況情報、気象情報などを掲載したホームページ（<http://www.suisan.tosa.net-kochi.gr.jp/>）を作成し、定期的に情報を更新した。なお、一部の情報は登録された会員（会員登録は高知県内に在住する個人・法人に限る）に限定して提供している。平成18年3月31日までの会員登録数は329名、本年度の当ホームページへのアクセス回数は257,970回。

（3）予報作成業務

1）漁海況長期予報の発行

水産研究所及び関係各県による太平洋イワシ・アジ・サバ等長期漁海況予報会議で検討した内容を基に、上半期（1～6月）と下半期（7～12月）の漁海況の経過を整理し、次半期の予想を行った。作成した長期予報は関係機関に郵送し、ホームページ（高知県漁海況システム）に掲載し公表した。

なお、海洋観測、沿岸定地水温の調査結果、漁海況速報、漁獲統計については、平成17年度漁況・海況予報事業報告書としてとりまとめ、高知県漁海況システムホームページに掲載した。